

MAENAN SAH Journal Vol.25

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ Dec. 14th, 2023

『生活委員会』による『校則の見直し』への取組

「ブラック校則」という言葉を聞いたことがある人は少なくないと思います。何十年も前に決められたルールが変わることなく、今の世の中にそぐわない形で残り、生徒達に受け入れられない場合にこう呼ばれるのだと思います。本校では、今年度から①男子の「ツープロック」を認める、②職員による登校時の身だしなみ指導を廃止することとなりました。これらは職員主導で行った事例ですが、生徒達は主旨をよく理解し、これまでに服装や髪型が乱れるようなことは全くありません。生徒ひとりひとりの主体性で維持できております。

一方、生徒主導の取組も活性化してきました。現在、本校では「服装頭髪指導」が定期的に行われておりますが、髪型や靴下のルールなどに疑問を持つ生徒もおり、生徒会の目安箱に校則の見直しをしてはどうかという声が届けられました。そういった声を生徒会、生活委員会で拾い上げ、SAHの一環として「校則の見直し」に取り組んでみよう！としてこの活動が始まりました。生活委員会、生徒会本部役員、有志のメンバーの計34名で活動中です！以下にその取組をご紹介します！

1. 生活委員会 会議



主に昼休みに集まり、意見の交換や今後の方針などを確認しています。校則を見直すに当たって、「卒業生として誇れる学校であり続ける為の校則」を目指そうとスタートしました。その結果、「自分だけがよければよい」、「おしゃれがしたいから」などという考えが透けて見える意見はひとつも出てきていません。こうして「前南生による、前南生のための、前南生の主体的な取組」が始まりました。

話し合いを重ねた結果、髪型ルールをまず考えていくことになりました。意見を出し合う中で「清潔感のある髪型」、「社会で通用する髪型」という言葉が多数出てきました。しかし、果たしてそれはどのようなものなのか？自分たちだけで答えを出すのは難しいのではないかと考えるに至り、それなら「高校生は社会からどのような目で見られているのか」を聞いてみたい！と企業・大学訪問が実現しました。

2. 企業・大学訪問

近隣の企業2社・大学2校へ経緯を話し協力を仰いだところ、快く協力してくださることになりました。訪問先は①株式会社吉田鉄工所、②株式会社メモリード、③前橋工科大学、④群馬医療福祉大学です。①～③については11月中に実施しました。④は冬休みに訪問予定です。

いずれの訪問先も忙しいなか時間を作っていただき、生徒達の質問に真剣に回答してくださいました。右の質問用紙は生徒達が考えたものです。これらを共通の質問とし、さらに訪問した代表生徒達が適宜質問を重ね、貴重なご意見をいただくことができました。生徒達が主体となって積極的に質問する姿にこの取組への真剣さを感じるとともに、生徒達の社会性を感じられる良い機会となりました。

訪問先での回答は、業種によって多少違いはあったものの傾向は似ていたように思います。一部を取り上げますと、「面接時に身だしなみはチェックしている」、「清潔感のある格好を心掛ける必要がある」、「身だしなみとおしゃれは違う」、「他者から見てどう思われるかが重要」、「自分が相手から受ける評価が会社の評価になってしまう」などでした。これらは明確な基準がない、まさに「非認知能力」を伴うものです。「自分で考え、判断する」。非常に良いお話が聞けました。

もう1大学の訪問先を残していますが出揃ったらそれを土台にして、いよいよ校則の見直しについて本格的に議論をすすめていく予定です。その後、職員と生徒で方向性を話し合い、年度内完成を目標としています。

また、①吉田鉄工所への訪問では、読売新聞東京本社の記者も同席し取材を受けました（2月に全国版に掲載予定）。全国的にもこういった、「生徒達が自ら考え行動する」取組は先進的で注目度が高いようです。前南の取組みが全県、全国をリードするものになったら嬉しいですね。（生活委員会顧問 高田 慧）

前橋南高校 生活委員会 企業・大学訪問 質問用紙
○11/24 (金) 14:00～ @吉田鉄工所様
質問①：社内では服装や髪型のルールはありますか？
<input type="text"/>
質問②：社会で通用する（印象の良い）髪型とはどのようなものですか？
<input type="text"/>
質問③：面接時などに服装や髪型などは見ますか？また具体的な長さなどありますか？
<input type="text"/>
質問④：前南生の身だしなみはどう思いますか？（高校生全般についても）
<input type="text"/>
質問⑤：高校生の化粧、整髪料はどう思いますか？
<input type="text"/>
質問⑥：校則の必要性は感じますか？
<input type="text"/>
メモなど
<input type="text"/>

3. 訪問生徒の感想

①吉田鉄工所

今回の企業訪問では、校則の見直しを進めているなかで、実際に社会人として働いている方々の意見を聞いて、生徒達とは違った視点から、改めて「校則」というものを客観視することができました。同時に、学校という団体に所属する一生徒として、**生徒が守るべき校則は、生徒主体で変えていくべき**という認識も深まりました。お話を聞いて、「身だしなみ」と「おしやれ」の違いを区別し、一人ひとりが能動的に行動することを前提として、**校則の見直しを進めていくべきだ**と実感しました。この経験から、自分達が生活する環境を**自らの手でよりよくしていく**ことは、非常に価値があると感じました。今回の企業訪問も、なかなかない貴重な経験となりました。(生活委員1年田村悠、有志1年清水菜苗)



↑質問する生徒



↑工場見学の様子

②株式会社メモリード

私達はこの企業訪問でとても貴重な経験をさせていただきました。話を聞いて感じたのは、**社会のルールは思っていたよりも厳しく、「どう見られるか」がとても重要だ**ということです。もちろん企業によって規則は違いますが、少なくとも面接時などで良い印象を与えるためには、**今の校則を最低限守らなければなりません**。また、校則は学校の印象を良くするだけだと思っていましたが、**自分自身のためでもある**ということ学びました。今回うかがった貴重な意見を校則作りの話し合いで活かしたいと思いました。

(生活委員2年奥泉陽南子、有志2年上原双葉)



↑ロイヤルチェスター前橋（結婚式場）の一室で。



↑メモリード HP より

対応してくださったのは前南OBの樋口さん。人事を担当されています。

③前橋工科大学



高校と大学で校則が全然違うということがわかりました。大学では服装や髪型にルールは無く、自由なように見えました。キャリアセンターの方は学生の間は髪型は自由でいいと感じているようでした。ただ**校則はあった方がよく、時代にあった校則に常に変えていくべきだ**とおっしゃっていました。今回の大学訪問を通して校則をなくすのではなく、**変えるものと変えないものを区別し校則は時代に合わせて変えていくべきだ**と感じました。(生活委員2年石原祥吾)

校則は、すべての学校において「世代世代で、合ったものに変えていくのが一番いい」とのことでした。しかし大学では就職活動をするに当たって、髪型・服装・靴などを学生自身で整えるため、特にルールなどで縛る必要はないと感じているようです。そのことから私は、**髪型・服装などのルールはある程度あった方がいいが、今よりもずっと優しい校則でも良いのではないか**と感じました。また、面接などで好印象を受けることのできる髪型について聞いたところ「男性の方は大谷翔平さん、女性の方はホラン千秋さんが理想の髪型」だそうです。(生活委員2年田中遼青)

髪型や服装の捉え方が人それぞれ違う中で、就職面接ではどのような髪型の印象が良いのかなどの意見を聞くことができました。大学への訪問ということで緊張はありましたが、キャリアセンターの阿部さんが丁寧に説明してくださり良い経験となりました。(生徒会役員1年腰高紗依)



↑キャリアセンターでお話を伺いました。就活生に配付している手帳をいただきました。身だしなみの注意事項が記載されています。

『うちの生徒すげーな』と「手前味噌」ですが思っていました。私の高校時代には校則がありませんでした。そうすると「無法地帯」です笑。当時は「時代が許していた」のだと思いますが、「学校はなにをやっているんだ！」と次第に世間から批判を浴び、「厳しい校則（ブラック校則）」が生まれたのだと思います。今回の生活委員会のように、本校では『生徒一人ひとりがエージェンシー（主体性・当事者意識）』を発揮し、日々振り返りながら責任ある行動をとり、『生徒個人と学校全体のウェルビーイング（幸福や充実感で満ち足りた状態）』に向かって進んでいます。これって『理想的な学校』ではありませんか？文責：星野 亨（教頭）

★校長より★

「教師にできることは子どもを愛してやることなんです。子どもを信じてやること。信じ切ってやることなんです。もし、それがもしできなかった時は、教師は教師を辞めるべきなんです。」昔見たTV番組での台詞です。私はこの言葉を常に胸に刻みながら、教師を続けてきました。そして、そうしてきた自分に間違いはなかったと、今回の生活委員の活動を見て感じています。校則の見直しを進めるにあたり、自分達の今が良ければという視点ではなく、また易きに流れることをせずに情報を集め、議論していく生徒達がそこにいます。保護者の皆さん、是非、御家庭でご子女と校則について話をしてみてください。君達の学校の校長で良かった。

校長 関根 正弘